

新型コロナウイルスへの人々の対策行動と意識  
—Beat! COVID-19(打倒新型コロナウイルス)プロジェクト  
第一次報告書

2020年6月

石井健一  
文教大学情報学部\*

---

本報告書は、楽天インサイト株式会社が保有する調査・分析アセットを非営利プロジェクトへ無償提供する”Beat! COVID-19(打倒新型コロナウイルス)プロジェクト”に筆者が参加し、そのプロジェクトにおいて楽天インサイト株式会社のモニターに対して実施したアンケート調査結果を報告するものである。調査の機会を提供していただいた楽天インサイト株式会社に感謝の意を表したい。

\* 連絡先: ishiiken at bunkyo.ac.jp; 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行方 1100 番地 文教大学情報学部

### 要約

新型コロナウイルスは、一般的な感染症と異なり、感染による個人リスクと社会的リスクにずれがありうる。そのため、新型コロナウイルスに対する人々の対策行動を浸透させるためには、従来災害での避難行動などでとられていた、個人リスクを正確に認知させるのとは異なるアプローチが必要である。本研究は、新型コロナウイルスの感染を減らす社会的な施策を検討するため、2020年6月に全国の成人男女(18-79歳)を対象として、新型コロナウイルスに対する人々の対策行動、個人リスク、社会的リスクの認知、緊急事態宣言中の自粛行動、メディア利用、オンライン会議など在宅勤務の問題点などについて調査をした。

キーワード: 新型コロナウイルス、緊急事態宣言、対策行動、社会的リスク、メディア利用、在宅勤務、オンライン会議

新型コロナウイルスへの人々の対策行動と意識  
—Beat! COVID-19(打倒新型コロナウイルス)プロジェクト

## 1.背景

2019年11月に中国武漢で最初に症例が報告された新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)は、武漢での流行に始まり日本でも2020年1月に最初の感染者が報告され、その後全世界的に感染者が増加した。流行の拡大により、2月に政府は大規模なイベント・集会や全国の小中高校の臨時休校を要請した。4月7日には政府から、東京都・大阪府ほか6県を対象として「緊急事態宣言」が発令され、4月16日には全国都道府県に対象が拡大された。5月13日以降、緊急事態宣言は順次解除されたが、東京など各地で依然として感染者の発生は続いている。

このような状況において感染者を減らすためには、人と人の接触をなるべく減らすことが推奨されている(NHK ニュース 2020年4月17日)。この目的を達成するために、人々の行動をどのようにしたら変えられるのかを行動科学の視点からの研究することが必要であろう。しかし、新型インフルエンザやSARSなどの感染症に対する対応行動の研究例はあるが(中谷内 2009; 及川・及川 2010; 郭・張・沈 2006)、これらの感染症と今回の新型コロナウイルスは感染パターンがかなり異なっている。SARSやMERSでは行動力が低下した発症者からの感染が主であり、無症状・軽症の感染者が動き回って感染拡大することはまれであった(日本経済新聞電子版 2020年4月17日)。一方、新型コロナウイルスについては、無症状・軽症の感染者が全体の8割程度いるとされており、そうした感染者からも感染する(同 日本経済新聞電子版)。また、日本では若者の重症者がほとんどいないと報道されているように、若者にとって新型コロナウイルス感染の個人的なリスクは低いと考えられる。

しかし、感染リスクが低い人々の間においても感染が広がると、二次感染を通して流行がひろがり経済や医療体制など社会全体に与えるマイナスの影響は大きい。つまり、新型コロナウイルスにおいては、従来の感染症や災害などとは異なり、個人的なリスクと社会的なリスクが必ずしも一致していないのである。これは、社会心理学で言われる「社会的ジレンマ」(山岸 1990)の状況であると言える。つまり、個々人が個人的に最適な行動をとることが、社会にとって最適な状況をもたらすわけではない。従来の災害行動(たとえば地震・火災など)で強調されてきた対策の多くは、個人的リスクの正確な認識をもたせることであったが、新型コロナウイルスの大流行を抑制するためには、個人リスクの認識をもたせるだけでは不十分であると考えられる。

このような状況において、人々がどのように対策行動をとっているのか、人々の生活にどのような影響があるのかを分析することは、今後来るかもしれない第二波への対策を考えるためにも重要であると考えられる。

## 2. 研究目的

このような問題意識から、本研究では以下のような研究目的を設定した。

1. 対策行動をとる(とらない)人はどのような人なのか。どのような要因が対策行動をとることに効いているのか。
2. 緊急事態宣言中の在宅勤務における問題点は何か。在宅勤務でオンライン会議システムはどのように使われていたか。

これらの研究目的を達成するため、オンラインで 1000 人を対象にアンケート調査を実施した。本稿は、その第一次報告を行うものである。ただし、本報告書は速報であり、これらの研究目的に答えることができる十分な分析は行っていない。この点については、今後公刊予定の論文または報告書を参照されたい。

## 3. 方法

楽天インサイト株式会社のインターネットアンケートシステムを利用してオンラインモニター1000人に回答を求めた。調査実施日は、2020年6月12～14日、調査対象は18歳以上80歳未満の男女とした。全国を13のブロック(北海道、東北、北関東、首都圏、甲信越、北陸、東海、近畿、京阪神、中国、四国、九州、沖縄県)に分け、各ブロックの10代刻みの年齢および性別の人口分布に比例した回答者数を割り当てた。

回答者の属性についてみると、男性499人(49.9%)、女性501人(50.1%)、平均年齢48.95歳(標準偏差16.83)、既婚者63.7%、子供有りが58.4%であった。世帯収入の中央値は501万円であった。また、職業はフルタイム40.8%、パート・アルバイト・契約社員13.0%、専業主婦(主夫)16.7%、無職12.2%、学生6.0%などとなっている。

調査票の構成は、以下のようになっている。Q1はライフスタイル関連、Q2はうわさを含めた新型コロナウイルスに関する様々な言説に対する認知、Q3は新型コロナウイルスに関する意識、Q4は各種の対策行動、Q5は感染拡大を防ぐための「自粛」行動関連、Q6-10は在宅勤務などを含めた緊急事態宣言下での勤務状況、Q11はメディア利用行動、Q12は今後の感染予防への参加意向、Q13は経済的な現状認識、の質問となっている。

## 4. 結果

結果の単純集計(回答分布)を付録につけたので参照されたい。ここでは、各項目の結果について簡単に紹介していく。

### 4.1 新型コロナウイルスについての人々の認識

新型コロナウイルスは新しい感染症であり、必ずしも正しいかどうか分からない様々な情報がメディアでも流された。Q2は、これらの情報についての正しさの認識を質問した。

調査結果をみると、70%以上の人々が「正しい」と信じていたのは「普通のマスクをしていても感染する」「感染を防ぐため手洗いをすべきである」「感染の可能性があるところでは、換気をよくする

べきである」「感染しても発症しない人がいる」「エレベーターのボタンや階段の手すりからも感染する」であった。一方、その他の項目「日本人は感染しにくい」「15歳以下の子供は重症化しない」「納豆は感染予防に効果がある」「血液型によって感染のしやすさが違う」「タバコを吸う習慣のある人は感染しにくい」は、メディアによって科学的な根拠があると指摘されたことがあるにもかかわらず、正しいとする回答はいずれも20%以下であった。

#### 4.2 新型コロナウイルスへの意識

これらの項目(Q3)は、新型コロナウイルスがもたらす個人的リスクおよび社会的リスクの認知、問題への思考傾向、今後の行動意向などについて問うたものである。このうち、「新型コロナウイルスの流行は、日本の経済を悪化させる」「また感染者が増えると日本の経済が悪化する」「日本人は団結して感染防止に協力すべきである」の肯定率(「非常にそう思う」と「そう思う」の合計比率)が80%を超えたが、これらは新型コロナウイルスの社会的リスクの認知をあらわす項目であった。続いて「新型コロナウイルスに関するニュースを、関心をもって見ている」「感染者を減らすことが今の日本にとって重要なことである」「様々な情報について、何が正しいのかをいつも考えている」の3項目の肯定率が70%を超えていた。残りの項目のうち肯定率が50%以下だったのは、「ウイルスの脅威の前には、人間の力は無力であると思う」(49.8%)、「新型コロナウイルスは、きちんと管理すれば危険な病気ではない」(34.1%)、「新型コロナウイルスにかかっても、重症化することは少ないので、心配していない」(10.5%)であった。最後の2項目は、個人リスクについて逆転項目の方式で聞いているので、実際は多くの者が個人的リスクを認識していたということを意味する。つまり、新型コロナウイルスの社会的リスク、個人リスクのどちらについても、きわめて高く認知されていたといえる。

#### 4.3 新型コロナウイルスに対する対策行動

新型コロナウイルスに対して個人的に実施することのできる対策行動を列挙して、実施状況を調べた(Q4)。対策行動の中で実行比率が高かったのは、「外出するとき、マスクをする」(85.9%)、「手をよく洗う」(82.8%)、「人の多い所には行かないようにする」(82.1%)、「消毒液で手を消毒する」(69.1%)、「店内で並ぶ時など、他の客と距離をとるようにする」(68.1%)、「食事会などの会合をやめる」(64.7%)、「電車やバスに乗らない」(61.0%)、「友だちと会わないようにする」(56.5%)などであり、これらは行動率が50%を超えていた。

#### 4.4 自粛行動の実行率

緊急事態宣言中には、対人接触を減らすために外出の自粛が求められた。Q5では、いくつかの具体的な外出行動について、どの程度、実際に頻度を減らしたかを聞いている。ここでは、「全然減らしていない」を0%、「少し減らした」を10%、「ある程度減らした」を30%、「かなり減らした」を50%、「全くやめてしまった」を100%と仮の値を与えて、「もともとしていなかった」の人を除いて、これらの行動が自粛されたかの比率を求めてみた。

表1に示されるように、自粛が最も浸透していたのが「飲み屋でお酒を飲む」であり自粛率は84.6%になった。続いて「レストランや食堂で食事をする」「遊びに行く」「友だちに会う」「電車やバ

スに乗る」の自粛率が60%以上であった。一方、「仕事に行く」(24.2%)や「店に行って買い物をする」(34.4%)はそれほど大きくは減っていない。

表1 「自粛」の比率

	自粛率(%)
1.電車やバスに乗る	61.3
2.友だちと会う	68.1
3.遊びに行く	69.8
4.仕事に行く	24.2
5.レストランや食堂で食事をする	70.4
6.飲み屋で他の人と一緒にお酒を飲む	84.6
7.店に行って買い物をする	34.4

#### 4.5 緊急事態宣言中の勤務形態

緊急事態宣言中には、在宅勤務や時短勤務が推奨された。この要請がどの程度浸透したのかを調べるため、Q7では、緊急事態宣言中の勤務形態について聞いた。緊急事態宣言中に仕事をしている人における結果をみると、「職場で従来通りの時間で勤務」(50.7%)が最も多く、約半数の人は通常通りの勤務であったことがわかる。これ以外の回答をみると、「職場で時短勤務」(11.7%)、「もともと自宅で働いている」(7.6%)、「部分的に在宅勤務」(21.8%)、「完全に在宅勤務」(8.0%)となっていて、部分的なものも含めると、仕事をしている人における在宅勤務の比率は29.8%となっている。

また、在宅勤務の人のうち53.1%がオンライン会議（ビデオ会議または音声会議）を利用していた。ただし、緊急事態宣言中に在宅でオンライン会議を利用した人は、以前にオンライン会議を利用した経験のある人が多かった。具体的に言うと、緊急事態宣言中にオンライン会議を使った93人のうち57人(61.2%)は緊急事態宣言前に使った経験があり、36人(38.7%)だけが緊急事態宣言のときに新しくオンライン会議を使っていた。

表2 在宅勤務でのオンライン会議の利用(人数)

言 前	緊急 事態 宣	緊急事態宣言中に		
		利用した	利用していない	合計人数
	利用経験あり	57	5	62
	利用経験なし	36	77	113
	合計人数	93	82	175

在宅勤務の効率性の評価はあまり高くない。利用者の 26.9%が通常業務よりも効率的だと評価したが、逆に効率的ではなかったとした回答が 51.4%であった。

在宅勤務の問題点として多くの利用者が選んだのは、「在宅勤務の間、プライベートな生活と仕事を分けるのが難しい」(64%)、「仕事上のやりとりで、意思の疎通が難しいことがある」(60%)、「気が散る(家族やペットの世話、家事、騒音など)」(53.7%)、「家庭と仕事の区別があいまいになる」(52.5%)、「オンライン会議は疲れる」(44%)であった。これらに比べると、「プライバシーが守れない」(36.5%)や「仕事をしながら子供の面倒をみる必要がある」(21.1%)は比較的少なかった。

#### 4.6 対策行動の利用意向

現在、抗体検査の実施や感染者との接触を確認できるアプリの提供が始まっている。政府からワクチンや各種検査など対策用のツールが提供された場合の利用意向について質問した(Q12)。各ツールについて「有料でも利用する」「値段によるが利用すると思う」「無料ならば利用する」の合計)を計算したところ、最も利用意向率が高かったのは「新型コロナウイルスを予防するワクチン接種」(85.0%)であり、次いで「新型コロナウイルスの抗体検査」(80.8%)、「新型コロナウイルスの PCR 検査」(77.2%)となった。これに対して、「感染者との接触を確認できるスマートフォンのアプリ」は、やや低く 65.6%であった(調査時点においては、アプリの提供はまだされていなかった)。

#### 4.7 現在の経済状況

最後に回答者の現在の経済状況について質問した。その結果は、「とてもうまくいっている」(5.9%)、「うまくいっている」(30.2%)、「なんとかやれている」(49.8%)、「苦しい」(8.9%)、「とても苦しい」(5.2%)であった。

## 参考文献

- 石井健一 (2020) 新型コロナウイルスへの人々の対策行動—アンケート調査結果から、  
[http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/~k\\_ishii/SARSCoV2.pdf](http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/~k_ishii/SARSCoV2.pdf)
- 中谷内一也(2009) リスク論は個人の対策行動を説明できるか—新型インフルエンザ拡大時の  
マスク着用理由、日本社会心理学会大会口頭発表 S28-04, pp.340-341.
- 及川晴・及川昌典(2010) 危機的状況での認知, 感情, 行動の変化—新型インフルエンザ  
への対応、心理学研究, 81号 420-425.
- 山岸俊男(1990) 社会的ジレンマのしくみ—「自分 1 人ぐらいの心理」の招くもの、サイエンス社
- 郭中実、张荣显、沈菲(2006) 理性思考与信息处理的深度：一个非典行为的预测模型  
(Depth of Reasoning and Information Processing: A Predictive Model  
of SARS Behavior) 《中国传媒报告》2006 年第一期
- “「人との接触 7 割～8 割削減に協力を」厚労相”, NHK ニュース(特設サイト新型コロナウイルス)、2020 年 4 月 17 日  
<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/tokyo/>.
- "世界で猛威振るう新型コロナ 収束に向けた 3 つの課題"、2020 年 4 月 27 日、日本経済  
新聞 電子版

## 付録 単純集計表

Q1.以下の事柄について、あなたはどのように思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

	n	非常に そう 思う	やや そう 思う	ど ち ら と も 言 え ない	あ ま り そ う 思 わ ない	全 く そ う 思 わ ない
1.現在の生活に満足している	1000 100.0	89 8.9	475 47.5	204 20.4	172 17.2	60 6.0
2.自分は幸福であると思う	1000 100.0	154 15.4	513 51.3	216 21.6	82 8.2	35 3.5
3.世の中のほとんどの人は信用できる	1000 100.0	13 1.3	145 14.5	448 44.8	298 29.8	96 9.6
4.たいていの人は、人から信頼された場合、同じようにその人を信頼する	1000 100.0	49 4.9	399 39.9	372 37.2	139 13.9	41 4.1
5.国や社会のことにもっと目を向けるべきである	1000 100.0	158 15.8	553 55.3	232 23.2	42 4.2	15 1.5
6.日頃から、社会の一員として、何か社会のために役に立ちたいと考えている	1000 100.0	72 7.2	421 42.1	362 36.2	105 10.5	40 4.0
7.治安の良さから考えて、日本以外の国には住みたくない	1000 100.0	263 26.3	345 34.5	259 25.9	108 10.8	25 2.5
8.日本は世界で一番良い国である	1000 100.0	121 12.1	283 28.3	401 40.1	142 14.2	53 5.3
9.私は日本という国が好きだ	1000 100.0	247 24.7	504 50.4	203 20.3	31 3.1	15 1.5
10.日本は諸外国から学ぶことが多い	1000 100.0	143 14.3	524 52.4	284 28.4	36 3.6	13 1.3
11.日本人は世界でもっとも優れた民族のひとつである	1000 100.0	99 9.9	335 33.5	404 40.4	118 11.8	44 4.4
12.日本人は、個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきだと思う	1000 100.0	71 7.1	264 26.4	538 53.8	100 10.0	27 2.7

Q2.あなたは、新型コロナウイルスについて、以下のことは正しいと思いますか。正しいと思うものをいくつでも選んでください。（いくつでも）

	n	%
全体	1000	100.0
普通のマスクをしていても感染する	717	71.7
感染を防ぐため手洗いをすべきである	923	92.3
感染の可能性があるところでは、換気をよくするべきである	874	87.4
感染しても発症しない人がいる	864	86.4
日本人は感染しにくい	75	7.5
15歳以下の子供は重症化しない	127	12.7
タバコを吸う習慣のある人は感染しにくい	20	2.0
納豆は感染予防に効果がある	46	4.6
血液型によって感染のしやすさが違う	78	7.8
エレベーターのボタンや階段の手すりからも感染する	764	76.4
正しいと思うものはない	27	2.7

Q3.「新型コロナウイルス」について、あなたはどのように思いますか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。※この設問は、それぞれ横方向(→)にお答えください。

	n	非常に そう 思う	やや そう 思う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い
1.新型コロナウイルスに感染するのではないかと、不安を感じる	1000 100.0	158 15.8	488 48.8	216 21.6	120 12.0	18 1.8
2.新型コロナウイルスは、きちんと管理すれば危険な病気ではない	1000 100.0	57 5.7	284 28.4	351 35.1	230 23.0	78 7.8
3.新型コロナウイルスは、自分にとって危険だ	1000 100.0	157 15.7	433 43.3	290 29.0	101 10.1	19 1.9
4.新型コロナウイルスにかかっても、重症化することは少ないので、心配していない	1000 100.0	13 1.3	92 9.2	260 26.0	382 38.2	253 25.3
5.今後第二波が来ると、日本の被害はもっと大きくなる	1000 100.0	206 20.6	414 41.4	308 30.8	61 6.1	11 1.1
6.新型コロナウイルスの流行は、日本の経済を悪化させる	1000 100.0	537 53.7	330 33.0	114 11.4	12 1.2	7 0.7
7.新型コロナウイルスに関するニュースを、関心をもって見ている	1000 100.0	282 28.2	491 49.1	179 17.9	36 3.6	12 1.2
8.様々な情報について、何が正しいのかをいつも考えている	1000 100.0	201 20.1	532 53.2	237 23.7	23 2.3	7 0.7
9.新型コロナウイルスへの対応について、自分でもいろいろと考えている	1000 100.0	154 15.4	522 52.2	268 26.8	48 4.8	8 0.8
10.ウイルスの脅威の前には、人間の力は無力であると思う	1000 100.0	168 16.8	330 33.0	323 32.3	151 15.1	28 2.8
11.また感染者が増えると日本の医療が崩壊する可能性がある	1000 100.0	247 24.7	440 44.0	254 25.4	49 4.9	10 1.0
12.また感染者が増えると日本の経済が悪化する	1000 100.0	471 47.1	388 38.8	123 12.3	14 1.4	4 0.4
13.ニュースで全国の感染者の状況をいつもチェックしている	1000 100.0	178 17.8	471 47.1	235 23.5	87 8.7	29 2.9
14.ニュースで現在住んでいる都道府県の感染者の状況をいつもチェックしている	1000 100.0	220 22.0	456 45.6	222 22.2	72 7.2	30 3.0
15.今後、しばらくは旅行はしないつもりだ	1000 100.0	269 26.9	385 38.5	252 25.2	71 7.1	23 2.3
16.今後、しばらくは人の多い所には行かないつもりだ	1000 100.0	214 21.4	455 45.5	245 24.5	64 6.4	22 2.2
17.感染者を減らすことが今の日本にとって重要なことである	1000 100.0	339 33.9	420 42.0	189 18.9	38 3.8	14 1.4
18.日本人は団結して感染防止に協力すべきである	1000 100.0	376 37.6	450 45.0	141 14.1	24 2.4	9 0.9

Q4.あなたは、政府から新型コロナウイルスへの対策として「緊急事態宣言※」が出されていた期間中、以下のようなことをしていましたか。あてはまるものをいくつか選んでください。(いくつか) (※緊急事態宣言の期間と対象地域) 4月7日～4月15日：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県 4月16日～5月13日：全国47都道府県 5月14日～5月20日：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県 5月21日～5月25日：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

	n	%
全体	1000	100.0
飲料水や食べ物をいつもより多めに買う	243	24.3
いつも行く店舗には行かずに、インターネットで注文する	185	18.5
人の多い所には行かないようにする	821	82.1
電車やバスに乗らない	610	61.0
友だちと会わないようにする	565	56.5
睡眠を十分にとるようにする	402	40.2
手をよく洗う	828	82.8
消毒液で手を消毒する	691	69.1
外出するとき、マスクをする	859	85.9
在宅勤務（テレワークなど）をする	209	20.9
食事会などの会合をやめる	647	64.7
友だちとの会合をオンラインにする	165	16.5
店内で並ぶ時など、他の客と距離をとるようにする	686	68.6
あてはまるものはなし	30	3.0

Q5.あなたは、政府から新型コロナウイルスへの対策として「緊急事態宣言※」が出されていた期間中、以下の活動をどの程度減らしましたか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。（※緊急事態宣言の期間と対象地域）4月7日～4月15日：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県 4月16日～5月13日：全国47都道府県 5月14日～5月20日：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県 5月21日～5月25日：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

	n	全然減らしていない	少し減らした	ある程度減らした	かなり減らした	全くやめてしまった	もともとしていない
1.電車やバスに乗る	1000 100.0	46 4.6	41 4.1	73 7.3	206 20.6	247 24.7	387 38.7
2.友だちと会う	1000 100.0	17 1.7	41 4.1	112 11.2	281 28.1	405 40.5	144 14.4
3.遊びに行く	1000 100.0	14 1.4	35 3.5	86 8.6	347 34.7	441 44.1	77 7.7
4.仕事に行く	1000 100.0	305 30.5	89 8.9	111 11.1	127 12.7	62 6.2	306 30.6
5.レストランや食堂で食事をする	1000 100.0	21 2.1	50 5.0	100 10.0	273 27.3	477 47.7	79 7.9
6.飲み屋で他の人と一緒にお酒を飲む	1000 100.0	11 1.1	20 2.0	35 3.5	101 10.1	510 51.0	323 32.3
7.店に行って買い物をする	1000 100.0	92 9.2	196 19.6	293 29.3	342 34.2	59 5.9	18 1.8

Q6.あなたは、政府から新型コロナウイルスへの対策として「緊急事態宣言※」が出されていた期間中、ふだんの一日の中で、以下の行動をどの程度行いましたか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。（※緊急事態宣言の期間と対象地域）4月7日～4月15日：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県 4月16日～5月13日：全国47都道府県 5月14日～5月20日：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県 5月21日～5月25日：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

	n	1 0 分 未 満	未 1 満 0 分 以 上 〜 3 0 分	未 3 満 0 分 以 上 〜 1 時 間	未 1 満 時 間 以 上 〜 2 時 間	未 2 満 時 間 以 上 〜 3 時 間	未 3 満 時 間 以 上 〜 5 時 間	5 時 間 以 上	い そ の 行 動 は し て い な
1.パソコンを使う	1000 100.0	71 7.1	45 4.5	98 9.8	150 15.0	121 12.1	145 14.5	183 18.3	187 18.7
2.タブレットを使う	1000 100.0	95 9.5	38 3.8	74 7.4	78 7.8	51 5.1	27 2.7	23 2.3	614 61.4
3.スマートフォンを使う	1000 100.0	32 3.2	71 7.1	145 14.5	187 18.7	172 17.2	137 13.7	125 12.5	131 13.1
4.家庭用ゲーム機を使う	1000 100.0	88 8.8	27 2.7	51 5.1	48 4.8	17 1.7	19 1.9	8 0.8	742 74.2
5.子供の世話をする・勉強を見る	1000 100.0	62 6.2	29 2.9	51 5.1	59 5.9	31 3.1	32 3.2	53 5.3	683 68.3
6.散歩やスポーツをする	1000 100.0	103 10.3	164 16.4	226 22.6	132 13.2	33 3.3	12 1.2	2 0.2	328 32.8
7.テレビを見る	1000 100.0	23 2.3	45 4.5	125 12.5	240 24.0	221 22.1	169 16.9	114 11.4	63 6.3
8.インターネットで動画を見る	1000 100.0	70 7.0	120 12.0	159 15.9	196 19.6	116 11.6	65 6.5	45 4.5	229 22.9
9.ブルーレイ、DVDなどでビデオを見る	1000 100.0	72 7.2	50 5.0	91 9.1	133 13.3	73 7.3	24 2.4	17 1.7	540 54.0

Q7.政府から新型コロナウイルスへの対策として「緊急事態宣言※」が出されていた期間中の、あなたの勤務状況としてあてはまるものを選んでください。（※緊急事態宣言の期間と対象地域）4月7日～4月15日：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県 4月16日～5月13日：全国47都道府県 5月14日～5月20日：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県 5月21日～5月25日：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

	n	%
全体	1000	100.0
職場で従来通りの時間で勤務	298	29.8
職場で時短勤務	69	6.9
もともと自宅で働いている	45	4.5
部分的に在宅勤務	128	12.8
完全に在宅勤務	47	4.7
コロナウイルスの流行で一時的に仕事がなくなり自宅にいた	67	6.7
コロナウイルスの流行で失職して自宅にいた	8	0.8
もともと仕事はしていなかった	316	31.6
その他：	22	2.2

Q8.新型コロナウイルスが流行する前に、あなたは在宅勤務でオンライン会議または音声会議を利用したことがありますか。

	n	%
全体	684	100.0
ある	121	17.7
ない	563	82.3

Q9.政府から新型コロナウイルスへの対策として「緊急事態宣言※」が出されていた期間中に、あなたは在宅勤務でオンライン会議（ビデオ会議または音声会議）を利用しましたか。（※緊急事態宣言の期間と対象地域）4月7日～4月15日：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県 4月16日～5月13日：全国47都道府県 5月14日～5月20日：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県 5月21日～5月25日：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

	n	%
全体	175	100.0
利用した	93	53.1
利用していない	82	46.9

Q10.在宅勤務の効率についてどう思いますか。

	n	%
全体	175	100.0
通常勤務よりも効率的だった	47	26.9
通常勤務ほど効率的ではなかった	90	51.4
通常勤務とほぼ同じであった	38	21.7

Q11.在宅勤務に関して、以下のことはどれ位あてはまりますか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。※この設問は、それぞれ横方向(→)にお答えください。

	n	全く そう だ	う ど ち ら か と 言 う と そ	う ど ち は ら な い と そ	全 然 そ う で は な い
1.在宅勤務の間、プライベートな生活と仕事を分けるのが難しい	175 100.0	37 21.1	75 42.9	41 23.4	22 12.6
2.プライバシーが守れない	175 100.0	8 4.6	56 32.0	65 37.1	46 26.3
3.気が散る(家族やペットの世話、家事、騒音など)	175 100.0	18 10.3	76 43.4	48 27.4	33 18.9
4.オンライン会議は疲れる	175 100.0	18 10.3	59 33.7	54 30.9	44 25.1
5.仕事をしながら子供の面倒をみる必要がある	175 100.0	12 6.9	25 14.3	27 15.4	111 63.4
6.家庭と仕事の区別があいまいになる	175 100.0	19 10.9	73 41.7	35 20.0	48 27.4
7.仕事上のやりとりで、意思の疎通が難しいことがある	175 100.0	30 17.1	75 42.9	41 23.4	29 16.6

Q12.政府が以下のことを国民に提供するとしたら、あなたは利用しますか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

	n	有料でも利用する	価値と 思う よる が 利用 す	無料ならば利用する	利用するつもりはな	わからない
1.新型コロナウイルスのPCR検査	1000 100.0	64 6.4	239 23.9	469 46.9	113 11.3	115 11.5
2.新型コロナウイルスの抗体検査	1000 100.0	63 6.3	244 24.4	501 50.1	81 8.1	111 11.1
3.感染者との接触を確認できるスマートフォンのアプリ	1000 100.0	46 4.6	113 11.3	497 49.7	190 19.0	154 15.4
4.新型コロナウイルスを予防するワクチン接種	1000 100.0	221 22.1	332 33.2	297 29.7	58 5.8	92 9.2

Q13.あなたは以下のメディアを、ふだんどのくらいの頻度で利用していますか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

	n	1日5回以上	1日3〜4回	1日2回	1日に1回	2〜3日に1回	4〜5日に1回	1週間に1回	1週間に1回未満	全く利用しない
1.テレビのニュースを見る	1000 100.0	160 16.0	272 27.2	282 28.2	183 18.3	34 3.4	8 0.8	5 0.5	11 1.1	45 4.5
2.テレビドラマを見る	1000 100.0	31 3.1	58 5.8	145 14.5	232 23.2	108 10.8	53 5.3	74 7.4	80 8.0	219 21.9
3.新聞を読む	1000 100.0	26 2.6	31 3.1	101 10.1	318 31.8	34 3.4	14 1.4	23 2.3	50 5.0	403 40.3
4.雑誌を読む	1000 100.0	7 0.7	8 0.8	39 3.9	71 7.1	57 5.7	36 3.6	90 9.0	190 19.0	502 50.2
5.ホームページを検索・閲覧する	1000 100.0	211 21.1	186 18.6	155 15.5	172 17.2	66 6.6	28 2.8	28 2.8	43 4.3	111 11.1
6.ネットでニュースを読む	1000 100.0	217 21.7	241 24.1	202 20.2	215 21.5	35 3.5	18 1.8	15 1.5	11 1.1	46 4.6
7.LINEを使う	1000 100.0	271 27.1	168 16.8	103 10.3	138 13.8	49 4.9	19 1.9	20 2.0	35 3.5	197 19.7
8.Twitterを使う	1000 100.0	107 10.7	50 5.0	58 5.8	83 8.3	31 3.1	14 1.4	13 1.3	23 2.3	621 62.1
9.Facebookを使う	1000 100.0	30 3.0	35 3.5	36 3.6	89 8.9	38 3.8	23 2.3	28 2.8	40 4.0	681 68.1
10.Instagramを使う	1000 100.0	108 10.8	59 5.9	41 4.1	70 7.0	29 2.9	10 1.0	13 1.3	28 2.8	642 64.2
11.YouTubeを見る	1000 100.0	133 13.3	93 9.3	105 10.5	171 17.1	97 9.7	41 4.1	40 4.0	92 9.2	228 22.8
12.有料動画配信サービスを利用する	1000 100.0	36 3.6	34 3.4	31 3.1	62 6.2	25 2.5	22 2.2	18 1.8	31 3.1	741 74.1

Q14.現在のあなたの生活の経済的な状況として、あてはまるものを選んでください。

	n	%
全体	1000	100.0
とてもうまくいっている	59	5.9
うまくいっている	302	30.2
なんとかやれている	498	49.8
苦しい	89	8.9
とても苦しい	52	5.2